

令和4年度第2回日進市特別職報酬等審議会議事録

日 時	令和4年11月18日（金）午後4時から午後5時まで
場 所	市役所本庁舎4階 第1会議室
出席者	委員：内藤勲委員（会長）、山本恵委員（副会長）、市川豊委員、都築尚信委員、 加藤洋平委員、大田知之委員、佐藤里美委員、伴律子委員 事務局：萩野一志（総合政策部長）、岩瀬雅哉（調整監）、柏木晶（人事課長）、 太田玲子（人事課主幹）、味岡正樹（人事課給与厚生係長）
欠席者	牛田由美子委員
傍聴の有無	有（1名）
開会（司会進行：事務局）	
会長あいさつ	
議題：特別職の報酬等の額について（議事進行：会長）	
傍聴承認	委員に傍聴の可否を諮り承認した。
会 長	議事を進めるにあたり、議事録署名者を指名させていただきます。前回と同様に名簿順に都築委員と加藤委員の2名にご協力をお願いいたします。前回の会議では、資料を用いて、日進市の財政状況や、県内他市との年収比較等について事務局から説明があり、資料についての質疑を中心に審議を進めました。その後資料を読み込んでいただいていると思いますので、今回はその資料に加え、その他の情勢等を総合的に判断していただいたうえで、各委員の報酬額改正に対する考え方を述べていただきたいと思います。また、意見を述べる際には、据え置き・引き上げ・引き下げの立場を明確に発言いただくようお願いいたします。
委 員	悩みましたが、私は据え置きが望ましいと思います。理由としては、同規模自治体の報酬平均よりやや低くなっていること、市の財政的にも安定していること、人口も微増傾向にあることなどの点から同規模自治体と同じレベルまで引き上げてほしいとも思いましたが、民意を考えますと、今、特別職の報酬を上げる同意が得られるのか、どのように思われるのかを考えたことによるものです。今回は、据え置いた方がいいように思いました。
委 員	私は、結論的には引き上げるべきだと思います。理由としては、近年長久手市が非常に脚光を浴びており、日進市が置いていかれる状況にあります。また、市民1人当たりの人件費をみても非常に低くなっています。これだけ低い人件費で賄っているのであれば、人口に見合った報酬額まで引き上げて、市民のためになるようなリーダーシップを発揮できる方を育成していきたいと思うからです。そうすることが、日進市のためになると思います。ちなみに、日進市の市民1人あたりの人件費は約 51,000 円なので、この値を県内の平均値まで引き上げて人口を乗じることで、おおよその人件費が出るかと思います。それに、財政力指数などで調整率を乗じた上で、報酬を積算してはどうかと考えます。市民感情だけを意識していると他市に遅れをとってしまうように思います。

委員	<p>私は、結論的には引き上げるべきだと思います。能力とか評価などは議会で判断されることだと思いますが、資料の人口区分が8万人から10万人の区分の団体と見比べると、近隣や同規模自治体と足並みを揃えることも考えるべきではないかと思います。同規模自治体の7団体を比較すると、日進市はもう少し報酬が高くていいのではないかと思います。人事院の勧告を守る団体が多いとは思いますが、コロナ禍で報酬を下げた一方で、この時期にきて引き上げの傾向が見受けられる状況下において、日進市だけ据え置きというのはいかがなものかと思います。人事院勧告において前回、前々回と据え置きが並んでいるなかで、岡崎は独自に引き下げを行っています。これは引き下げる理由があったから引き下げているのだと思います。日進市の場合は、特例条例により令和2年度と令和3年度は引き下げを行っています。その差をどう捉えるかだと思います。私は、他団体と足並みを揃えるだけでなく、日進市の水準がそこでもいいかどうかを考えるべきだと思います。現在の社会情勢のなかでは、据え置きとするのが妥当であるとの考えもあるかもしれませんが、日進市は同規模自治体の中で4番目です。日進市の人口が増えていることも鑑みるともう少し上でもいいのではないかと思います。あと、市長に準じて他の職の報酬も決まっていきたいと思います。特に議員が同規模自治体に比べて低いので、何か経緯があったのかもしれませんが、日進市は全体的に報酬額を押さえているように思えます。新聞によれば、尾張旭市は人事院勧告の影響により期末手当を0.05ヶ月引き上げて3.3ヶ月すると掲載されていました。ただ、月額給料と議員報酬は据え置きとのことでした。市民感情などもあるので、慎重に考えなければいけない部分もありますが、答申にはそこら辺を含めたような表現ができるようにしてはどうかと思います。それから、財政力指数だけを見ると確かに安定しているように思いますが、職員の数が極端に少ないと思います。歳入についても、人口の増加に見合った額になっているのか評価べきだと思いますし、報酬は市税等で賄われていることから税金等も考慮する必要はあると思います。そうであったにしても、もう少し報酬を引き上げてもいいように思います。</p>
委員	<p>私は、財政面や物価上昇への考慮から据え置くべきか引き上げるべきかで迷いましたが、企業側の立場で考えますと、なかなか今の状況で引き上げるのは、厳しい社会情勢の中で従業員の給料も上げることができない状況にあることから、もう少し情勢を見ないと引き上げる判断はできないと思いましたので、据え置きとすべきだと思います。</p>
委員	<p>前回欠席したため、事務局の方と少し話をさせていただいて資料の説明を受けました。それを踏まえて私の結論は、据え置きとすべきだと思います。先ほど他の委員が言われていた通りで、企業側の立場で考えると、現在の世界情勢が大変厳しく、日進市の自主財源は伸びてきている傾向は見られるもののこの先の物価上昇により企業は大変厳しい状況です。物価の上昇により、今後企業側は、人件費を上げることも求められてくると思います。このため、企業側としては利益を出せない状況が続くことが見込まれ、市の税金も下がってくるように思います。このような状況から、先が見通せないというところを踏まえて据え置きとすべきだと思います。</p>

委員	<p>結論的に言いますと据え置くべきだと思います。市民の方や市議会議員5人にそれぞれ聞き取りをして、いろいろな意見をいただくことができましたし、私自身もいろいろなところを調べて今どういう状況なのかを調べさせていただきました。そして、先ほどの意見にもありましたとおり企業の方の賃金が上がらない中で、目立つという感覚もっています。資料を見ますと、日進市の人件費の割合は高くなく、財政的にも何ら問題ないと思われるので、報酬を引き上げてよいかと思う気持ちもあります。ちなみに、今期の政務調査費については、市議会議員20人中13人が全額返金しているとのことでした。理由としては、コロナを挙げられて全額返金されているようです。一方で、政務調査費を返還してない方は、この機をチャンスに新しいアプリを取り込んでいろいろな勉強をしているということも聞きしました。費用が嵩み政務調査費以上に必要であったという方もみえました。この差はすごく大きいと思いました。もう一つ、新型コロナウイルス感染症の影響により議会の質問時間が短縮されました。これは特別職の報酬を考える上ではマイナス要因になるかと思えます。質問も少なく、議論も減ってくるということはマイナス要因になるように思えます。気持ちとしては、頑張っていたきたいと思えます。もう一つ、市議会議員が言われていたことが、特別職の報酬が1期目であっても複数期目であっても同じ報酬であるということに疑問を感じているということです。致し方ないこととは思いますが、議員報酬のみでは生活はできなという声もあります。そのため、若い人の立候補が少ないのは非常に残念に思えます。そういう点では、報酬をもう少し考えてもいいのではないかと思います。例えば、子ども3人持ち、家計を支えていくには、この報酬では無理だと思います。そのため、立候補を見送るという事態になっているのであれば、本質の方が落ちていくという状況も想定されるのではないかと思います。報酬は、その職務に見合ったものであるべきなので、きちんと職務を全うしていただくことを望みます。そのうえで、審議会において報酬が職務に対して低いとなれば引き上げていくことも検討すべきだと思います。報酬に見合った働き方をしていただき、それが市民の目にも触れられるようになれば、報酬を引き上げていくという土壌が生まれてくるように思えます。報酬を引き上げることで、より一層職務に対する意識が上昇するのではないかと思います。そういった意見があったことを答申に盛り込んでほしいと思えます。職務に見合った報酬を議論することは、報酬の中身がわかりづらい中で難しいこととは思いますが、そこは自治体の規模に準じることでよいと思えます。日進市も、やがて人口10万人を迎えるかもしれません。仮に、そうなったときには、その規模に見合った報酬に引き上げていくべきだと思います。今は、その前段ということで、今回は据え置くべきだと思います。</p>
委員	<p>私も悩みました。報酬がやや低いようにも感じましたが、他の委員の発言のとおり、今この時期に引き上げるべきではないかなという気持ちがありましたので、今回は据え置くべきだと思います。</p>
会長	<p>欠席の牛田委員からは、事務局が意見をお預かりしているとのことなので、報告をお願いいたします。</p>
事務局	<p>私の方から代読をさせていただきます。11月19日付けで会長宛にいただいたものになります。特別職の報酬額については今回は据え置くことが望ましいと考えます。理由は次の2点です。1点目は、令和4年度の人事院勧告では一部の若年層の職員を除いて一般職の月例給料の改定はないことなので、特別職の報酬についてのみ改定することはいかがなものかと考えます。2点目は、市民の生活感覚から考えますとコロナ禍の中で、経済的な不安を抱える家庭も少なくないと思えますので、このタイミングで改定することは好ましくないと考えます。</p>

<p>会 長</p>	<p>私自身、前回の時も少し発言させていただきましたが、職務に見合った報酬が支払われる自治体でないといけないと思います。ただ、その報酬がいくらが妥当であるかを考えるのは非常に難しいことだと思います。私も他の委員の発言のとおり、一般職の人事院勧告にだけ従っていくという性質のもでもないと考えています。例えば、人口の増加に伴って様々な仕事が増えていったりする部分もあると思いますので、同規模自治体と比較して、報酬額がどの位置にあるのかを見るのは一つ的手段だと思います。そういった点では、前回は新型コロナウイルス感染症の影響がなければ引き上げてもいいという意見が出てきて当然のような状況にありました。今回も、やはり私も少し引き上げる時期に差し掛かっているのかなとは思いますが、据え置きのご意見の委員の方も引き上げてもいい時期にはきていると思われるように思いました。ただ、現時点で、自主財源比率が一度下がってしまったものがようやく回復傾向に差し掛かっている段階で、自主財源の中心となる市民税についても、伸びが鈍いように思います。これは、新型コロナウイルス感染症の影響が残っているからだだと思います。今後、新型コロナウイルス感染症対策が進み、世間一般の社会活動が活発になるまでは待つ必要があるように思います。今はまだ税収が上がる途中という感じになっています。おそらく一般企業の人件費もこの先上げざるを得ない状況になっていくとは思いますが、しばらくは上がらないと思います。一委員としては、据え置くべきではないかと思えます。さて、据え置きと引き上げのご意見がでましたが、この審議会の意見というものは多数決で決めるという性質のものではないと思いますので、全体の意見をまとめさせていただきます。全体としては、据え置きという意見が多かったと思います。しかしながら、その方々も、引き上げるということが好ましくないということではなく、世間の情勢を考慮すると据え置いた方がいいのではないかとということだったと思います。一方で、2人の委員の引き上げるべきだという意見も非常に重要だと思います。世間の情勢に捕われず職務に見合った報酬にして、市民のためによりよい仕事をしてもらうために引き上げてはどうかとの意見でした。意見が分かれておりますので 最終的に審議会としての意見をまとめていかなければいけません。委員の方でご意見のある方は発言してください。</p>
<p>委 員</p>	<p>私は、審議会に初めて参加しましたが、報酬を据え置いた場合、年収も含めなにも変わらないのでしょうか。一般企業では、年齢給が上がっていくとか何かに伴って一部のだけ変化していく部分もあります。そういった部分はないのでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>一般企業だと年齢給や職能給がベースとなって、上がっていきます。地方公務員も一般職には、民間企業の賃金表にあたる給料表がありますが、特別職にはありません。そのため、特別職の報酬を決めるために参考にできるものはありません。したがって、同規模自治体と足並みを揃えていくのが無難だろうとは思っています。</p>
<p>委 員</p>	<p>委員の中で引き上げてもいいという意見があったのはよかった。今回は据え置きとの意見を出しましたが、次回は引き上げられるといいと思っています。</p>

委員	<p>給与には、給料に手当などが含まれており、それでもって年収が決まってきます。月額報酬だけで見ていくのか、役職手当も加算された期末手当も含めた年収でみていくのか整理する必要があるように思います。尾張旭市は、期末手当を 0.05 ヶ月分上乘せしています。つまり、給料は据え置きなのだけでも年収としては上がっていることになります。新聞では、本則は据え置きであるが、それを基にした期末手当については上乘せたと掲載されていました。日進市の状況は、同規模自治体7市を比較すると、財政力指数は2番目ですが、市長の給料は4番目、副市長は5番目、教育長は4番目、議長は6番目、副議長5番目、市議会議員は5番目と真ん中よりも下になっています。据え置きが続いていますが、もう少し引き上げて同規模自治体の中での順位を上げてもいいように思います。据え置きが続くと、いざ引き上げるときに、その上げ幅が大きくなるのが想定されることから、徐々に引き上げていってもいいのではないかと思います。</p>
委員	<p>資料では、人口区分による比較や財政状況について記載されていますが、特別職の仕事の中身がわかるとよいように思います。豊田市の特別職の報酬は高い水準にあります。その豊田市の特別職と日進市の特別職で仕事の中身は変わらない可能性もあるので、そういったことも資料で示されるとよいと思います。</p>
会長	<p>仕事の量で比較すると、民間企業でも同じぐらいの仕事をしていても給料が違うことはあります。特別職の仕事内容は、団体によって大きくは変わらない部分もあるとは思いますが、人口が多くなるほど、所用も含むと多くなるのではないかと推測します。とはいえ、基本的な仕事について比較していくと、おそらく大きな違いはないと思います。しかし、それも踏まえてしまうと、決めようがなくなってしまうと思います。私も、地域の代表者としての仕事に応じて報酬は決まっていくものと考えています。日進市については、若干低いのかなとは思いますが、自主財源比率が下がってそこから回復してきていくと考えると、まだ戻りきっていないのかなという感じがしましたので、私の意見としては据え置きとしたものです。</p>
委員	<p>私は引き上げとの考えを持っています。先ほど別の委員が言われたように、特別職としていい人材を得るためには、来年は統一地方選挙の年でもあり、今回報酬を上げて、市民のために働いてくれる人材を作るというのが私の希望です。</p>
委員	<p>私も、日進市の報酬は低いように感じますが、今引き上げると目立つのではないかと思います。私の会社も日進市にあって従業員には我慢していただいている部分もありますので、企業が従業員にしっかり報酬が出せないなかで、市長の報酬を引き上げるのは、従業員の中にも日進市民がいるので、その感情を考えると今は引き上げを待ってほしいと思います。</p>
委員	<p>私も来年度の地方選挙の状況が少しずつお話が入ってくるんですけど、立候補が多いらしいんです。もともとは日進市外の方も手を挙げようとしてきているようです。選挙により、本当に日進市のために尽くしてくれる方を選んだあとで、それに見合った報酬に引き上げるべきだと思いますので、今回は据え置きでよいと思います。ただ、引き上げるにあたっては、議員の報酬が特に低いように思いますので、改善できればと考えています。</p>

委員	<p>確かに別の委員の発言のように 給料は本当に上がっていないのです。非正規労働者にも適用される最低賃金は格段にここ数年上がっています。新型コロナウイルス感染症の発生した当初は、最低賃金の引き上げ幅は小さかったが、ここ最近は引き上げ幅が大きくなっており、来年もこの傾向は続くと考えています。来年度の春闘でも、物価の上昇もあり、給料を上げる交渉が進むと思われます。ただ、その給料上昇分を価格転嫁することが難しいことから、企業の利益が上がらないこととなり苦しい状況が想定されますが、給料を上げざるを得ない状況にはあると思います。行政職が民間企業より先に上がっていくことはないかもしれませんが、来年、再来年と上昇傾向にあることは間違いないので、いずれ報酬も引き上げる時がくると思います。</p>
会長	<p>民間が先か、行政が先かということで、上げるタイミングが難しい状況にあります。先ほども発言がありましたように、報酬を上げることで、きちっと働いていただける特別職が出てきていただけるという期待もある一方で、民間に先行するののかというと、2人以外の委員の方は先行するのは良くないのではとの意見であったように思います。世の中全体が上がったら、それに合わせて引き上げていくことでいいように思います。引き上げにあたっては、民間の動向だけでなく、他の要素も踏まえながら上げ幅を考えていく必要があると思います。</p>
委員	<p>今日進市は長久手市に比べて元気がないように思います。昭和40年代以降、日進市のほうが元気でしたが、今は追い抜かされているように思います。日進市が今一度上昇気流にのれるような、そういう意欲のあるリーダーがぜひ生まれてほしいと思います。</p>
会長	<p>長久手市と比較することが適切かはさておき、南知多町の離島の篠島と日間賀島を例にすると、昔は篠島のほうが有名でありましたが、タコなどのPRにより日間賀島のほうが有名になったように、日進市と長久手市においても日進市のほうが住みやすいと以前は言われていて、人口も増えていきましたが、目立ったものが少なく、長久手市に注目が集まってきているところかと思しますので、必ずしも日進市が元気がないのかというと、現在でも人口は増えているように思います。ただ、目立ったものが少ないので、それを打開する特別職が出てきていただいて、それに見合った報酬を検討していく必要があるように思います。やはり、引き上げるタイミングを考えていく必要があります。審議会は1年おきなので、今の状態であれば次の審議会のときには引き上げるという意見が強くなってくるのではないかと思います。ここまでを整理して、答申にあたっては、引き上げる意見もあったことを附帯意見として添えることで、今回は据え置きということはいかがでしょう。</p>
委員	<p>審議会の答申を踏まえて、市が報酬をどうするか考えていくなれば、引き上げてもよいというニュアンスを強くしてもいいのではないかと。</p>
会長	<p>ある程度引き上げても良いというニュアンスははっきり分かっていいと思います。どの委員も、引き上げる時期が来るとするのは感じてみえて、ただ、そのタイミングがいつなのかというところで、今回は据え置きという意見のほうが多かったように思います。全体としてそろそろ引き上げてもいい時期に来てるんだということをはっきりわかるような書き方しておけばいいかと思います。結論は据え置きだけれども、附帯意見として、そろそろ引き上げる時期には来ているということを明記して答申したいと思いますがいかがでしょう。</p> <p>なお、委員の中でご意見のありました職務への取り組み姿勢に関することについては、その意見を議事録に残すということをご理解いただきたいと思います。</p>
委員	<p>委員からの異議なし。</p>

会 長	それでは、審議内容と過去の例を踏まえて答申を事務局に作成いただきたいと思いますので、よろしく お願いいたします。
事務局	審議内容を踏まえ、答申（案）を作成しますので、休憩とさせていただきます。
会 長	それでは、答申（案）の作成のため、只今から休憩します。
答申（案）作成のため休憩	
会 長	会議を再開します。答申（案）が配付されたと思いますので、確認のため、事務局から読んでいただき たいと思います。
事務局	答申（案）を読み上げる。
会 長	この答申（案）の文面について、何かご意見等ありますでしょうか。
委 員	意見なし
会 長	特に意見がないようですので、文案どおりの答申とします。これにて令和4年度の審議を終わらせて いただきます。会議の円滑な審議にご協力いただきありがとうございました。
事務局	これより答申の準備をさせていただきます。答申書の受取りのために市長を呼びますので、しばらくお 待ちください。
答申準備のため休憩	
事務局	会長より市長へ答申書をお渡しいただきたいと思います。よろしく申し上げます。
会長が答申書を読み上げたうえ、市長へ手交。	
市長あいさつ	
事務局	これにて、本日の審議会を終了させていただきます。委員の皆様方にはお忙しい中、全2回の審議に 対して、貴重な時間を割いてご審議をいただきありがとうございました。
閉会	